

日本キリスト教文学会 2019年度 第48回全国大会

総主題：文化表象とキリスト教

と き：2019年5月11日(土)・12日(日)

ところ：国際基督教大学 〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

大会進行役 昭和女子大学 名誉教授 森本 真一

北星学園大学 准教授 島田 桂子

第一日 5月11日(土) (13:00～20:00) 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス2階 国際会議室

役員会 (11:00～13:00) (東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 中会議室 203・204)

受付 (13:00～)

I 開会の辞 (13:30～)

日本キリスト教文学会 会長 勝呂 奏

II 挨拶

国際基督教大学 学務副学長 森本あかり

III 研究発表 (14:00～15:40)

C.S. ルイス『顔を持つまで』における神化(テオーシス)の思想
——美への憧れと隣人の救いの重荷を担うことをめぐって

上智大学大学院博士後期課程 高田ひかり
司会 大妻女子大学教授 安藤 聡

*Adonais*におけるP.B. ShelleyのNegative Idealism
——新プラトン主義経由の否定神学的理想表現

酪農学園大学 准教授 白石 治恵
司会 徳島大学 教授 田久保 浩

アルフレッド・ド・ヴィニーにおける脱宗教性——『ダフネ』を中心に

日本大学 教授 江島 泰子
司会 白百合女子大学 教授 釘宮 明美

IV 講演 (16:00～17:30)

海外研究者から見た日本近代文学とキリスト教との関係の問題

西ワシントン大学 教授 マッシミリアーノ・トマシ

司会 フェリス女学院大学 名誉教授 宮坂 覺

V 懇親会 (18:00～20:00) 会場：東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 1階 大学食堂

第二日 5月12日(日) (10:00～15:40) 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス2階 国際会議室

VI 研究発表 (10:00～11:40)

三浦綾子『天北原野』と「主の祈り」

日本大学 教授 竹林 一志
司会 四国学院大学 教授 島 達夫

遠藤周作によるキリシタン歴史小説の区分について
——「日本の聖女」に関する一考察

上智大学大学院博士後期課程 香川 雅子
司会 九州共立大学 専任講師 古浦 修子

遠藤周作『沈黙』研究——「顔」のモチーフを中心に

広島大学大学院博士後期課程 倪 楽 飛
司会 ノートルダム清心女子大学 教授 山根 道公

◆ 昼 食 ◆

VII 総会 (12:30～13:00)

VIII シンポジウム (13:10～15:30)

文化表象とキリスト教——「見る言葉」

司会・パネリスト 東北学院大学 教授・演出家 下館 和巳
パネリスト 国際基督教大学 国際学術交流副学長 マーク・ウィリアムズ
パネリスト 四国大学 教授 阿部 曜子

IX 閉会の辞 (15:35～15:40)

活水女子大学 名誉教授 奥野 政元

聴講無料

主催 日本キリスト教文学会 (URL:<http://nihonchristkyobungakkai.web.fc2.com/>)

事務局 〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758 桜美林大学崇貞館 B428 勝呂奏研究室

TEL: 042-797-6636 E-mail: suguro@obirin.ac.jp